

体と心を元気に！



鴨川市でお弁当の販売・配食サービスを行うワーカーズコレクティブ「からころ」。鴨川に移住し共同購入班を結成していたメンバーが中心となり、福祉資源が乏しい地域でも安心して暮らし続けられるまちづくりの一助になりたいと2016年に立ち上げました。

名前の「からころ」は、体（からだ）と心（こころ）を元気に！という思いが込められています、素敵ですね。

<人気ナンバーワンはメンチカツ>

お弁当は生活クラブの消費材と地元のこだわりの食材を使い、全て手作りしています。私もいただきましたが、その美味しいこと！野菜たっぷりでバランスのよいお弁当は毎日写真に撮り、フェイスブックで発信しています。

助成金では業務用のガスコンロとグリラーを購入し、火力が強くなったことで作業効率が上がり助かったと喜ばれています。



<最後の砦、配食サービス>

配食サービスは、高齢者や産前産後の方などの自宅へ1個からお届けしています。現在は1日平均30食のうち10食程度を個人宅に、他には定期的に利用のある企業へ届けています。

車がないと暮らせないエリアでの配食サービスは、高齢者が家で暮らすための最後の砦であり、見守りという観点からも大切な役割があると話してくれました。

<まちづくりへ新たなスタート>

2020年2月に近所に新設されるデイサービスの食事を委託されることになり、助成で購入したコンロ等と共に施設の厨房へ引っ越しします。「一定の食数が確保できることで、事業が安定し時給も上げられるから新しいメンバーを増やせるね」と皆さん嬉しそうでした。

必要なものを自分たちで生み出していくパワーとチームワークの良さでこれからも暮らし続けられるまちづくりをすすめて欲しいと思いました。

鴨川にお住いの皆さん、ぜひ「からころ」のお弁当を食べてみてくださいね。



福祉委員長 理事 田端知江